年度　2008　　学期　後期	曜日・校時　　月・3	必修選択　　必修	単位数　1
授業科目/（英語名）	ドイツ語　IV German		
対象年次　　2 年次	講義形態　　演習		
対象学生（クラス等）2D16・17＋2T20A～21A	科目分類　　外国語科目（ドイツ語）		

担当教員：　山下哲雄　　／Eメールアドレス：yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp
／オフィスアワー：　2 校時後の昼休み、3 校時後の休み時間

授業のねらい：　ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。
授業方法：　　会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。
授業到達目標：　ドイツ語を好きになり、ドイツそしてヨーロッパに興味を持つ。

授業内容
ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。

第 1 回　　パーティーには何を着ますか
第 2 回　　この白いワンピースをどう思いますか
第 3 回　　このゴミはどこに捨てますか
第 4 回　　ドイツの学校の環境プロジェクト
第 5 回　　ここで犬を放してはいけません
第 6 回　　何歳になれば、何ができますか
第 7 回　　ドイツの義務教育は何年ですか
第 8 回　　パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません
第 9 回　　ドイツの学校
第 10 回　復活祭には何をしますか
第 11 回　ドイツの祭りと祝日
第 12 回　カーニバル
第 13 回　ドイツと日本の年末年始
第 14 回　「アトヴェント」とはどういう意味ですか
第 15 回　定期試験、後期の授業の総括、ビデオでドイツを見る

キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく
教科書	『スツェーネン　2』場面で学ぶドイツ語 著者：　佐藤修子　他、（株）三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト（40%）、定期試験（50%）、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
備考	